

## 2018年9月12日 個人投資家向け説明会

### 主な質疑応答

#### Q. 技術者派遣の競合会社について

A. 株式公開企業の技術者派遣を主たる事業とする会社をベンチマークし、情報収集にあたっております。

#### Q. 同業他社と比較した強み・課題について

A. 強みは、お客様からいただく技術者一人当たりの単価が同業他社の平均と比較し、高いグループに位置付けられることとなります。第2四半期で、技術者単価 4,148 円と報告させていただきましたが、4,000 円を超える同業他社は、それほどないように思います。そこから考えると、質の高いエンジニアの構成比が高いと言えるのではないかと思います。今後も、この強みを伸ばすため、当社のハイバリューグループからワイドバリューグループの人員構成比率を維持し、さらに質の高いエンジニアの比率を高めることにチャレンジしていきます。

現在、質の高いエンジニアの採用が、非常に厳しい状況にあります。この課題に対して、当社の特徴的な社内制度の PR を含めて、魅力ある技術者派遣会社はアルトナーであるという認識を高めていく総力戦が必要であると考えております。

#### Q. 多種多様な人材活用、特に外国人労働者について

A. 今年度から多種多様な人材活用のための募集活動を行っております。シニア、女性エンジニア、国内留学生を中心とする外国人、また、協力会社となります。まず、実践的に展開の可能性が高いのは協力会社の人材活用であると考えております。その次に、シニアエンジニアが、他の人材と比較すると、ストックされている人材が多いかと思います。女性エンジニアは、ストックが不十分で、今後の課題となります。外国人に関しては、日本の大学での留学生を中心に、お客様のどの工程・プロジェクトに参画させていくのか、あるいは派遣では厳しいが、請負・受託であれば大丈夫かということも見極めつつ、採用活動をしております。

#### Q. 障がい者雇用の実態・課題について。

A. 今年、法定雇用率が微増しておりますが、当社は障がい者の方々の雇用実績を上げ、法定雇用率をクリアしております。支援学校の協力のもと、主に新卒採用を中心に毎年、障がい者の方々を採用しております。今後、アルトナーの従業員の増加と比例して、障がい者の方々の雇用人数も増加いたします。現在の社内的な事務処理業務だけでは、将来的には、彼らのやりがい、働きがいにとって、十分ではないと考えております。新たな業務領域の拡大が、今後の雇用人数の増加に伴う課題だと認識しております。

Q. 2019年1月期第2四半期末の株主数の大幅な増加について

A. 2017年10月にJASDAQから東証二部、2018年7月に東証二部から東証一部という二段階の中期的な株式公開市場に関する戦略を組んでおりました。そのプロセスで、まず2017年2月1日に1対2の株式分割で、2018年1月期末の株主数は2,005名となりました。そして、2018年4月1日に、さらに1対2の株式分割を実施し、加えて、立会外分売を実施し、株主数を東証一部指定の基準である2,200名に到達するだけの条件整備をいたしました。結果、2019年1月期第2四半期末には3,474名となりました。

以上